

きのこのこの思い出(報告レポート)

ほなみ保育園

R4年 2月

1. 10月栽培スタート 水やりをして育てました

子どもたちには“きのこの菌床”ということは内緒にして栽培がスタートしました。

「これ、何だろう?」「きのこの香りがするよ!」

「本当だ!きのこの香り!」と興味津々の子どもたち



出てきたのは・・・

『しいたけ』でした!!



水やりを毎日行っていると・・・

「しいたけが出てきた!」「しいたけの赤ちゃんだ〜」と発見した子どもたち!

「いっぱいお水を飲んで、大きくなってね〜」と声を掛けるお友だちもいました。

丁寧に育てようとする気持ちが感じられました。



お友だちが水やりをしていると「大きくなって?」「いっぱいお水かけてね!」と声を掛ける様子もありました。毎日の観察・水やりが続きました。

2. いよいよ収穫！

楽しみにしていた収穫！はさみを使って収穫しました。
「ねっこは固いんだね」「上はフワフワしている」「大きさが違うね」
「これはハートの形みたい」などの発見が多くありました。



クラスで収穫したしいたけは、自分たちで調理室に運んでいきました。

子どもたち 「今日の給食に入れてください！」
給食の先生 「いいですよ」「お味噌汁に入れるね」
子どもたち 「やった～！」

給食でお味噌汁を美味しくいただきました。



土・日曜日にお休みして、月曜日に登園したら・・・
びっくり！！シイタケがこんなに大きくなっていました。
「お顔と同じくらい大きくなった～！」
「巨大しいたけになっちゃった～！」
大歓声が上がったのでした。



3. みんなで“芋きのこご飯” を作りました

「みんなで育てたしいたけ、どんなお料理にして
食べたい？」と子どもたちに聞くと・・・
「きのこご飯！」という声がありました。
ちょうど、保育園の畑でも、夏から育てていたさ
つま芋が収穫できたため、“芋きのこご飯”を作
ることになりました。



炊飯器に材料を入れ
て・・・
スイッチオン！
ご飯が炊きあがると、お部
屋がと～ってもいい香りに
包まれたのでした。「しい
たけのいい香りがする～」



炊きたての“芋きのこご飯”は、おにぎりにして食べたり、
園長先生にもお届けにいきました。
園内のみんなから「美味しかったよ」と言ってもらえて、
子どもたちは大喜びでした。



今回初めてきのこの菌床を栽培する経験を子どもたちと一緒にさせていただき、とても貴重な機会となりました。

10月に栽培を始めて、2月上旬まで収穫が続き、子どもたちにも様々な発見がありました。五感をフルに使い、栽培・収穫・食べる経験ができました。ありがとうございました。

ほなみ保育園